

令和6年能登半島地震 能登半島 道路の緊急復旧の状況

令和6年1月8日(月)
7時00分時点

- 1/4から国道249号の緊急復旧に着手。24時間体制を構築し、海側の国道249号の復旧に向け、(一社)日建連により緊急復旧作業を順次実施。
- 沿岸部では被災箇所が多数確認されているため、自衛隊と連携し、内陸からくしの歯状の緊急復旧も進めており、既に6方向で沿岸部へ通路を確保

緊急復旧の進捗率

	1/7 7時	現在
半島内の 主要な幹線道路	約6割 ⇒	約7割
うち国道249号 沿岸部※	約2割 ⇒	約4割
沿岸部への到達	5箇所 ⇒	6箇所

※輪島市門前町～珠洲市役所

孤立地区数の推移

1月5日8時	33地区
1月7日14時	24地区

※内閣府防災資料より
※孤立地区には支援物資が届けられているとの情報

写真①



県道38号被害状況

写真②



国道249号作業状況

写真④



国道249号法面崩落

写真⑤



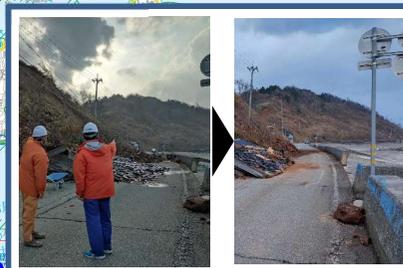
国道249号大谷トンネル



凡例

- : 国交省対応(走行可能)
- : 県対応(この他にも作業を実施)
- : 自衛隊対応
- ⊗ : 国道249号被災箇所
- ⊗ : 完了(応急含む)
- : 孤立集落(内閣府防災資料)
- : 孤立集落(報道等)
- : 孤立集落(解消済)
- ★ : 復旧業者到達地点

写真③



土砂崩落復旧前 土砂崩落復旧後

国道249号緊急復旧完了

国道249号における陸海両側からの緊急復旧(自衛隊との連携)

令和6年1月8日(月)
7時00分時点

- 孤立集落の解消にむけ、**自衛隊と連携し、内陸からにくわえて海側から、くしの歯状の緊急復旧**を順次実施
- あわせて国道249号の被災箇所について、**本復旧にむけた現地調査に着手**

✖ : 被災規模 大

⊗ : 被災規模 小～中程度



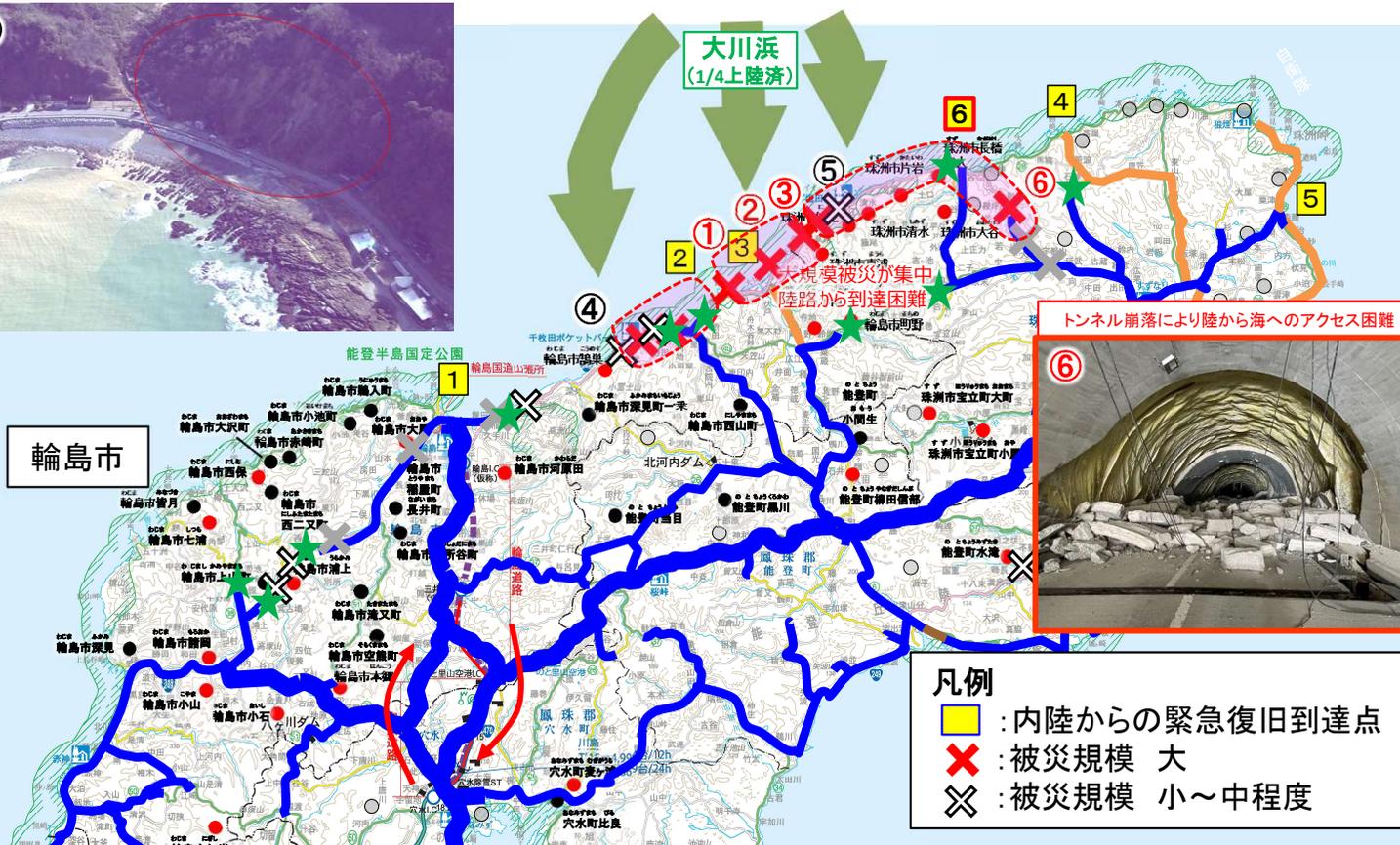
(参考) 出典: NHKニュースより
自衛隊による孤立解消作業



- ・1/4(木)、海上自衛隊のホバークラフトが輪島市北側の大川浜に上陸。
- ・重機(ダンプ、バックホー等)を搭載。

○ 自衛隊と連携し、海から人員・資機材を搬入し、**陸路から到達困難な箇所**で、**緊急復旧を推進**

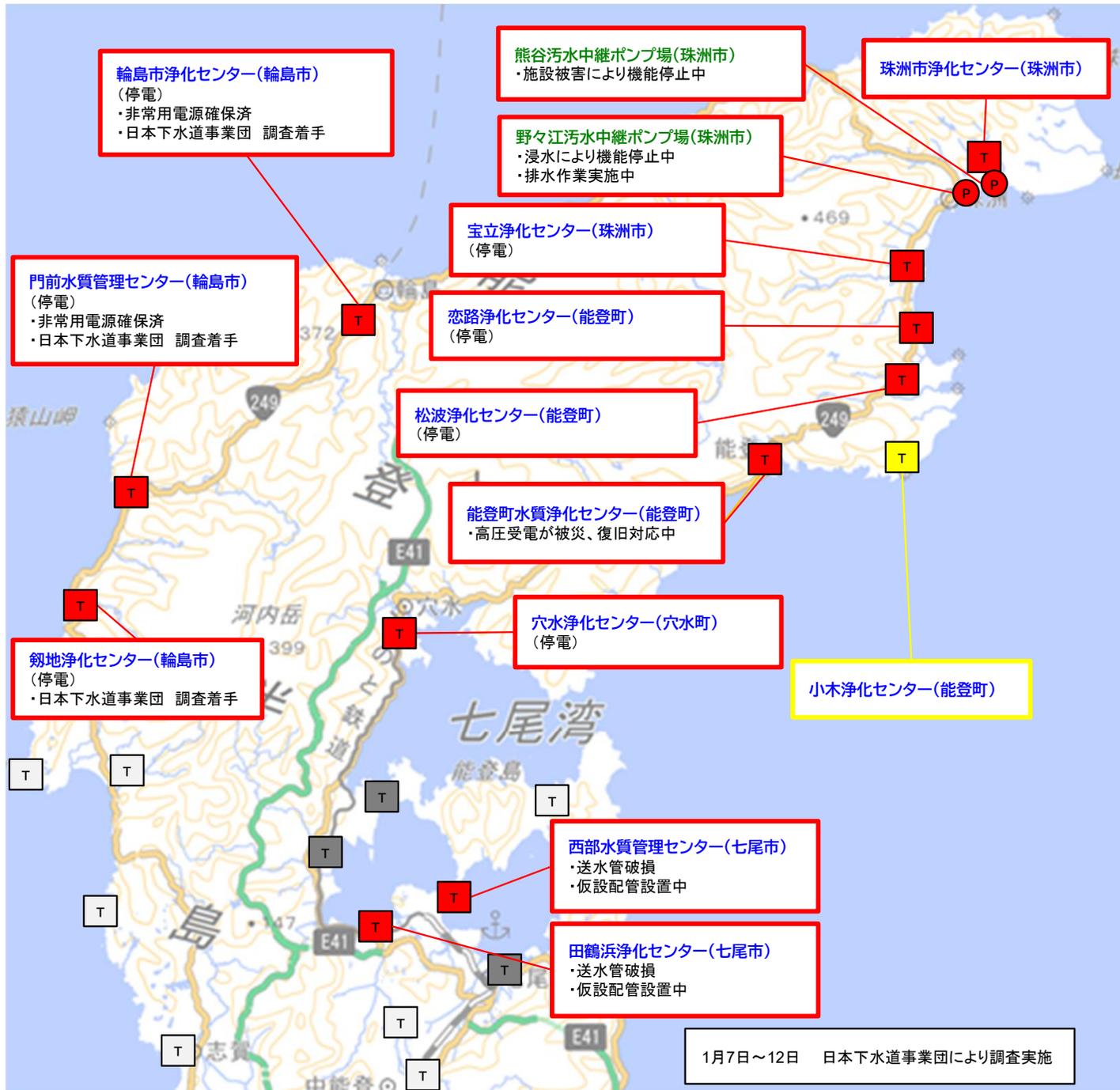
※具体的上陸場所等については、防衛省と調整中



- 凡例
- : 内陸からの緊急復旧到達点
 - ✖ : 被災規模 大
 - ⊗ : 被災規模 小～中程度

令和6年能登半島地震に伴う下水道施設の被害状況(石川県)

令和6年1月8日
10:00時点
国土交通省



▲日本下水道事業団による調査の状況

- 【凡例】
- 下水処理場
- 稼働停止(流入汚水なし) 11箇所
 - 詳細調査中(流入汚水なし) 1箇所
 - 機能確保済
 - 被害なし
- ポンプ場
- 稼働停止(流入汚水なし) 2箇所

令和6年能登半島地震(最大震度7)による土砂災害発生状況

土砂災害発生件数

53件^{※1}

- 【被害状況】
- 人的被害：死者：19名
 - 安否不明者：6名
 - 負傷者：2名
 - 家屋被害：全壊：11戸
 - 半壊：1戸
 - 一部損壊：2戸

(いずれも土砂災害による被害と判明した箇所のみ)

石川県	32件
新潟県	11件
富山県	10件

すずし にえまち
 ③石川県珠洲市仁江町 【道の駅すず塩田村の西側】



死者：9名
 負傷者：2名

撮影：アジア航測(株)・朝日航洋(株)

凡例
 ●：土砂災害発生箇所(石川県)

※1：都道府県から土砂災害発生箇所として報告された件数

わじまし くまのまち
 ①石川県輪島市熊野町



撮影：アジア航測(株)・朝日航洋(株)

※河道閉塞対策の支援のためTEC-FORCEによる調査実施中

わじまし いちのせまち
 ②石川県輪島市市ノ瀬町



撮影：アジア航測(株)・朝日航洋(株)

※河道閉塞対策の支援のためTEC-FORCEによる調査実施中



すずし しみずまち
 ④石川県珠洲市清水町 【道の駅すず塩田村の東側】



撮影：アジア航測(株)・朝日航洋(株)



※これは速報値であり、今後数値等が変わる可能性があります。

令和6年能登半島地震に伴う河川の対応状況等について

令和6年1月8日 9:00時点

国土交通省 水管理・国土保全局

- 国管理河川では、5県（新潟、富山、石川、福井、長野）に所在する12水系17河川で点検を完了。4水系4河川16箇所 で堤防沈下、天端クラック等を確認、信濃川(しなのがわ)水系信濃川における緊急復旧工事の完了を含め、必要な応急対策は実施済。
- 県管理河川では、6県（新潟、富山、石川、福井、長野、岐阜）が管理する122水系554河川のうち、93水系507河川で点検完了、残る河川は点検実施中。新潟県、富山県、石川県、福井県が管理する43水系72河川で、護岸損傷、天端クラック等を確認、応急対策を順次実施中。石川県管理の河原田川(かわらだがわ)水系河原田川、山田川(やまだがわ)水系山田川において、土砂崩れによる河道埋塞が発生し家屋等が浸水。河原田川についてはTEC-FORCEによる現地調査を実施、応急対策の準備中。山田川については流路確保工事中。
- ダムでは、点検対象ダム96ダムの全てで点検終了。うち94ダムは異常なし。2ダム（石川県管理）で損傷が確認されたため、応急対策を実施中。また、現地調査に先立ち、専門家（国総研）により、計測データやダム管理者が撮影した画像等を基に応急対応を指導中。

河川の被害状況: 国管理 県管理

ダムの被害状況: 県管理

<石川県管理ダム>
 北河内(きたかわち)ダム (能登町)
 貯水池周辺斜面の小規模崩落等
 小屋(おや)ダム (珠洲市)
 ダム天端の舗装に一部クラック、
 ダム堤体表面被覆の一部変状等

応急対策実施中
 専門家(国総研)により、
 計測データ等を基に
 応急対応を指導中

<国管理河川> 応急対策済
 関川(せきかわ)水系関川 (新潟県上越市)
 護岸損傷、管理用通路クラック 3箇所

<石川県管理河川>
 27水系50河川



河原田川 山田川

河原田川(かわらだがわ)水系河原田川 (輪島市)
 河道埋塞 **TEC-FORCE 現地調査を実施
 応急対策の準備中**

山田川(やまだがわ)水系山田川 (能登町)
 河道埋塞 **流路確保工事中**

<新潟県管理河川>
 7水系9河川

<富山県管理河川>
 8水系12河川

<国管理河川> 応急対策済
 庄川(しょうがわ)水系庄川 (富山県射水市)
 天端クラック等 ※応急対策済

<国管理河川> 応急対策済
 小矢部川(おやべがわ)水系小矢部川(富山県小矢部市)
 天端クラック 2箇所

<福井県管理河川>
 1水系1河川

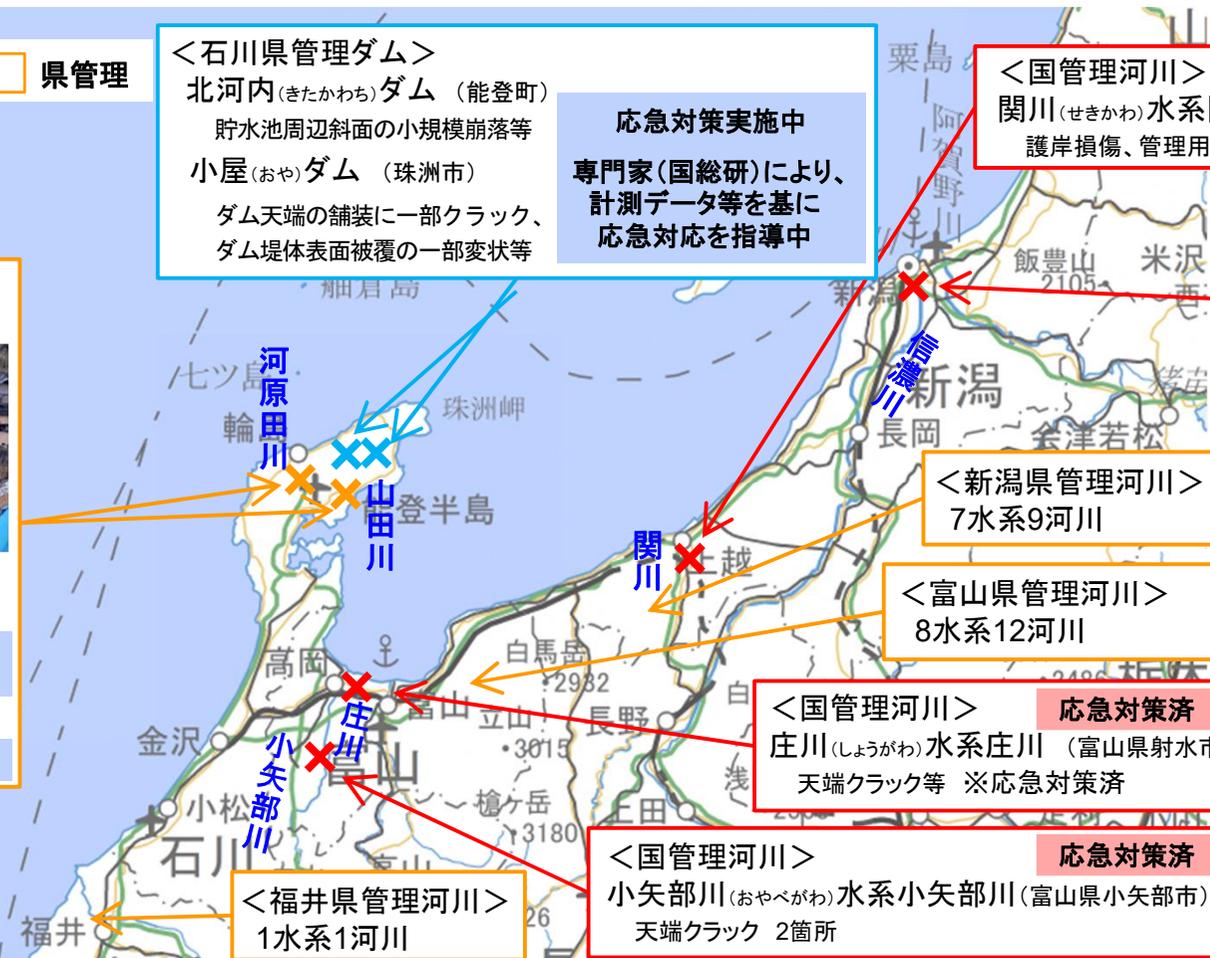


被災後(着手前)



緊急復旧工事了

<国管理河川> 応急対策済
 信濃川(しなのがわ)水系信濃川
 (新潟県新潟市、長岡市)
 堤防沈下、天端クラック等 10箇所



令和6年能登半島地震の影響による鉄道の状況について

A のと鉄道 七尾線(33.1km)

○運休区間：七尾駅～穴水駅間(全線) 被害が大きく運転再開の見込みが立っていない。(1月5日 のと鉄道より発表)

1月9日より現地調査実施予定(合計12名)

・鉄道局(TEC-FORCE)2名、北陸信越運輸局(TEC-FORCE)3名、鉄道・運輸機構 鉄道災害調査隊(RAIL-FORCE)7名

B JR西日本 七尾線(59.5km)

○運休区間：高松駅～和倉温泉駅間 高松駅～羽咋駅間は、運転再開には少なくとも2週間以上かかる見込み。

(45.1km)

羽咋駅～和倉温泉駅間は、被害が大きく運転再開の見込みが立っていない。(1月5日 JR西日本より発表)

○1月3日以降に再開した路線

- ・JR西日本 七尾線(津幡駅～高松駅間) (3日8時50分頃)
- ・富山地方鉄道 立山線(岩峠寺駅～立山駅間) (3日9時50分頃)
- ・あいの風とやま鉄道(倶利伽羅駅～高岡駅間) (3日12時00分頃)
- ・IRいしかわ鉄道(津幡駅～倶利伽羅駅間) (3日12時20分頃)
- ・JR西日本 高山線(猪谷駅～越中八尾駅間) (3日18時30分頃)
- ・北陸鉄道 浅野川線(全線) (4日始発から)
- ・JR西日本 水見線(高岡駅～水見駅間) (6日始発から)
- ・JR東日本 越後線(越後赤塚駅～関屋駅間) (6日13時頃)
- ・JR西日本 大系線(南小谷駅～糸魚川駅間) (6日14時40分頃)

【のと鉄道】



※各写真はのと鉄道提供

【JR七尾線】

— : 運休区間



※各写真はJR西日本提供

令和6年能登半島地震による能登地域港湾の利用可否状況

- 能登地域の港湾では、港湾全体に被害が及んでおり、石川県からの要請に基づき、七尾港、輪島港、飯田港、小木港、宇出津港、穴水港の計6港について、港湾施設の一部管理を国土交通省にて実施。
- 支援物資輸送の**中核となる水深4.5m以深の16岸壁のうち、9岸壁が利用可能**であることを確認。
(ただし、七尾港、輪島港、飯田港の岸壁は条件付きで利用可能)
- 引き続き、海上ルートによる支援物資の円滑な輸送の実現に資するよう、供用中施設の利便性向上のための応急復旧作業を進める。

輪島港 (最大水深7.5m、延長220m)

1岸壁が利用可能

【主な利用条件と対応状況】

- ・岸壁法線から約13m離れた位置に岸壁法線と平行して最大2mの段差が生じていることから、船舶へのアクセス経路が限られている。
→アクセス経路の拡幅を予定。当面、応急復旧したアクセス経路で物資を搬送。
- ・地震による地盤隆起により、岸壁水深が最大1.5m程度浅くなっている。
→回復には抜本的な復旧工が必要であり、水深6mの岸壁として運用。



自衛隊車両の利用状況(5日)



応急復旧の概成状況

穴水港 (最大水深4.0m、延長187m)

【主な利用条件と対応状況】

- ・強い陸風が吹くときは離岸が必要となる場合がある。
→回復には抜本的な復旧工が必要。当面、注意して運用する。

宇出津港 (最大水深4.0m、延長205m)

【主な利用条件と対応状況】

- ・岸壁法線に近い位置は重量物を置くことができないものがある。(一般車両は走行可能)
→回復には抜本的な復旧工が必要であり、岸壁法線の近くに重量物を置かないように運用する。

小木港 (最大水深5.0m、延長160m)

5岸壁中4岸壁が利用可能

水深4.5m岸壁 × 4 : 利用可能 [利用条件なし]

水深5.0m岸壁は利用不可 →抜本的な復旧工が必要

飯田港 (最大水深5.5m、延長100m)

2岸壁中1岸壁が利用可能

水深4.5m岸壁

【主な利用条件と対応状況】

- ・航路内に小型船が沈没しているため、航行時に注意が必要。
→沈没船撤去の準備中(8日に潜水士による調査を予定)。当面、注意して航行してもらうことで対応。
- ・アクセス経路にうねりが生じている。
→応急復旧を実施中。当面、うねりのある経路上を低速で走行することで物資を搬送。

水深4.5m岸壁への着岸状況(5日)



水深5.5m岸壁は利用不可 →抜本的な復旧工が必要

七尾港 (最大水深11.0m、延長260m)

8岸壁中3岸壁が利用可能

水深11.0m岸壁

【主な利用条件と対応状況】

- ・液状化の影響により、車両が走行できないアクセス経路がある。
→応急復旧を準備中。当面、走行できない区域を避けて物資を搬送。

水深9.0m岸壁、水深7.5m岸壁

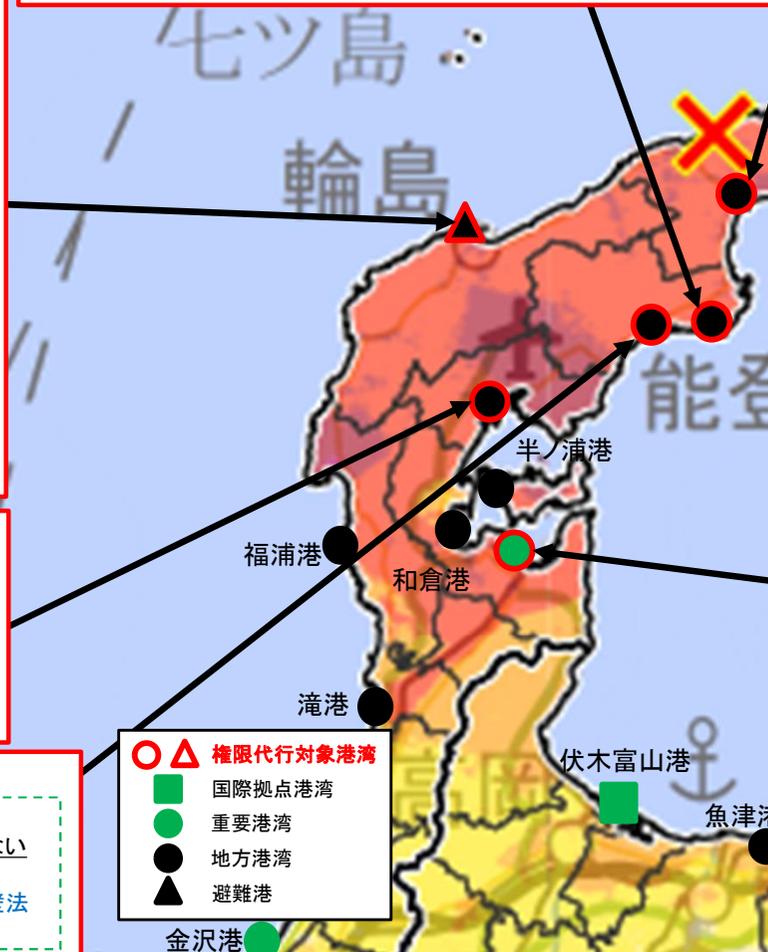
【主な利用条件と対応状況】

- ・岸壁法線に近い位置は重量物を置くことができない。(一般車両は走行可能)
→回復には抜本的な復旧工が必要であり、岸壁法線の近くに重量物を置かないように運用する。

その他の5岸壁は利用不可

→抜本的な復旧工が必要

海翔丸の支援物資の積卸し(5日;水深7.5m岸壁)



○△ 権限代行対象港湾

- 国際拠点港湾
- 重要港湾
- 地方港湾
- ▲ 避難港

照明車を活用した電源支援について

■ 停電が長期にわたる避難所等へ、資源エネルギー庁が配備する電源車が派遣されるまでの間の応急対応として、国土交通省所有の

照明車を電源車として先行派遣し、被災者への電源支援を1/6より実施。

■ 珠洲市(旧本小学校(1/6~)、第三長寿園(1/7~))、輪島市(港公民館)(1/7~)で実施中。

■ 今後も、輪島市、珠洲市、能登町において電源支援を拡大していく予定。

全国から集結した照明車、整備局で待機含め、約80台体制で支援を行う。



避難所施設内接続

避難所への電源供給接続作業
(珠洲市 旧本小学校)



電源供給により停電を解消 (珠洲市 旧本小学校)



- 電源支援箇所数(1/8 現在)
- 輪島市 : 1箇所
- 珠洲市 : 2箇所
- 能登町 : 調整中



家電製品 (スマートフォン) に電力供給
(珠洲市 第三長寿園)



家電製品 (スマートフォン) に電力供給
(輪島市 港公民館)

可搬式浄水装置による給水支援

- R6能登半島地震における給水支援として、(独)水資源機構が保有する可搬式浄水装置2台を投入。
- 日本水道協会からの要請を受けて、石川県珠洲市にて給水支援を予定。7日(日)に現地に搬入、設置作業を開始。8日(月)も悪天候の中、設置作業を継続し、遅れは見込まれるものの、設置後に運転調整等を実施予定。珠洲市による水質検査の後、早期の稼働をめざす。
- 可搬式浄水装置の特徴・効果
 - ・ 海や河川から取水して浄水することが可能であり、飲料水としても利用可能。処理能力は、50m³/日。
 - ・ 本格稼働がなされれば、現在、ほとんどの給水車が金沢市と7時間以上かけて往復しているところ、珠洲市まで約20分に短縮される。大型給水車約15台分の往復を解消。
注)稼働率を75%、給水車の容量約5000lと仮定。



7日(日) 先遣隊による現地調査



7日(日) 設置作業開始

